

【5G(第5世代無線移動通信)関連事業に多摩川電子は取り組んでいます】

2020年の商用化が予想される5G(第5世代無線移動通信)に対して、事業の取り組みを多摩川電子の担当者に伺いました。

通信速度が10Gbps以上、LTEの1000倍もの大データ容量の5Gは、従来より高い周波数帯を使用するため、電波の届く範囲が狭くなり、小型の基地局を大量に設置する必要があるため、フェムトセル(超小型基地局)や光張り出し(光伝送装置による再送信)の方法が想定されています。

現在、『高周波無線・光伝送のエキスパート企業』である子会社(株)多摩川電子では通信事業者や無線装置メーカー向けに5G対応の『高周波数化と広帯域化を可能にするアナログ光伝送装置』と『ミリ波帯における小型送受信ユニット製品』の開発に取り組んでいます。

メディア等で多く取り上げられるようになり、2020年への実用化を目指している中で、当社子会社(株)多摩川電子の取り組みに是非ご注目下さい。